

本学教員が文部科学大臣表彰受賞

業績名「受精から初期発生における透明帯の役割に関する研究」

【本件のポイント】

- 附属生命医学研究所ゲノム編集部門 徳弘圭造学長特命准教授
- 平成 31 年度科学技術分野、若手科学者賞を受賞
- 精子の卵子透明帯通過と受精後の通過阻害機構の仕組みを研究

学校法人 関西医科大学（大阪府枚方市 理事長・山下敏夫、学長・友田幸一）附属生命医学研究所ゲノム編集部門徳弘圭造学長特命准教授が、平成 31 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において、若手科学者賞を受賞しましたのでお知らせします。これは、科学技術に関する研究開発、理解増進などにおいて顕著な成果を収めた研究者の功績を讃えることで科学技術に携わる人たちの意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的として、文部科学省が行っている事業。中でも徳弘学長特命准教授が受賞した若手科学者賞は、萌芽的な研究や独創的な視点に立った研究など、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績をあげた 40 歳未満の若手研究者個人に贈られるものです。

徳弘学長特命准教授は、本学既報の通り従来十分に明らかとなっていなかった哺乳類の精子と卵子の結合機構を解明し、受精前後における卵子透明帯への精子の結合・通過制御メカニズムの一端を解明しました。その研究は、受精メカニズムの全容解明のみならず、受精しやすい環境を作りだせる新しい治療・診断薬や人為的に受精を抑制できる避妊薬の開発に繋がることが期待されています。なお、研究成果をまとめた論文が、2018 年 8 月 16 日（水）午前 11 時（日本時間 8 月 17 日（金）午前 0 時）付で、米国学術雑誌「Developmental Cell」に掲載されています。

■ 「Developmental Cell」掲載概要	
掲 載 誌	Developmental Cell DOI:10.1016/j.devcel.2018.07.020
論文タイトル	Glycan-independent gamete recognition triggers egg zinc sparks and ZP2 cleavage to prevent polyspermy
筆 者	Keizo Tokuhiko, Jurrien Dean

本学は、今後も各種の研究活動を積極的に推進し、医学・医療分野における画期的な成果を生み出すことで知の社会還元を推し進め、社会に貢献して参ります。

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（岡田、畑森）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2126 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp